支 部 ・ 分 会 運 営 規 程

(目 的)

第一条 この規程は、組合規約第四条の規定にもとづき、支部および分会の運営について定めることを目的とする。

(支 部)

第二条 組合の運営をたすけ、地域的諸問題の共同解決をはかるとともに、分会組織の指導を行ない、組合の統一行動のための連絡調整を行なう機構として、地域ごとに支部をおく。

(支部の任務)

第三条 支部は、組合の方針にしたがって、つぎのを行なう。

- 一．支部内の分会相互の交流と諸活動を通じ組合員の団結を強め、未加入者の加入を促進すること。
- 二．組合の機関決定、指令、通達、指示などを分会、組合員に周知させ、組合の統一行動を発展させること。
- 三．地域的諸問題の共同解決をはかること。
- 四 組合が加盟している団体の地域組織または組合の方針と一致する地区の労働組合および民主団体との提携協力を強めること。
- 五．その他、組合の目的を達成するために必要な行動を行なうこと。

(支部業務の代理執行)

第四条 支部が行なわれなければならない組合の業務および活動の遂行が長期にわたりいちじるしく困難となった場合は、中央委員会の議を経て執行委員会が、支部業務の代理執行をすることができる。

2 代理執行の範囲および期間等については、そのつど中央委員会できめる。

(議決機関)

第五条 支部につぎの議決機関をおく。

- 一．支部大会
- 二．分会代表者会議

(支部大会)

第六条 支部大会は、支部の最高議決機関であって、代議員、中央委員および支部役員をもって構成する代議員大会、または全員大会とし、そのいずれかは、分会代表者会議で決定する。

2 支部大会は原則として毎年五月支部長が招集する。ただし、分会代表者会議が必要と認めるとき、または、執行委員長が中央委員会の決定に基づいて要求したときは臨時大会を招集しなければならない。

3 支部大会の代議員定数は、分会単位とし、組合員五名ごとに一名を基準として、分会代表者会議で決める。

(支部大会の議決事項)

第七条 支部大会は次の事項を議決する。

- 一．支部の活動方針
- 二．支部予算
- 三．支部役員、中央委員等の選出
- 四．地域役員への加入および脱退
- 五．その他重要な事項

(支部大会の運営)

第八条 支部大会の運営、議事の取り扱い等については、組合格約および議事運営規則等を準用する。

(分会代表者会議)

第九条 分会代表者会議は、支部大会につぐ支部の議決機関であって、支部役員および分会代表者をもって構成し、支部長が随時招集する。分会代表者は組合員二十名に一名を下まわらない範囲で支部委員会で定める。会議の運営その他については前条と同じく扱うものとする。

2 分会代表者会議は次の事項を審議する。

- 一．組合の各機関、支部大会における議決事項の運営
- 二．組合の規約、規程等の定めに基づき支部が行なう協議、決定事項
- 三．支部役員は、中央委員の補欠選挙および支部選出の各種役員の選出
- 四．支部予算の補正
- 五．支部大会から委任された事項
- 六．その他必要な事項

3 この規程に定めのない事項で支部かぎりの問題については、そのつど分会代表者会議において決定する。

(支部執行機関)

第十条 支部の業務を執行するために支部委員会をおく。

2 支部委員会は次の役員をもって構成する。

- 一．支 部 長
- 二．副 支 部 長
- 三．支部書記長
- 四．支 部 委 員

3 支部委員会は随時これをひらき、各機関で決められたことを執行する。

(専門部および補助機関)

第十一条 支部委員会に専門部をおく。その設置基準は中央委員会の定めるもののはか、分

会代表者会議で補強し、設置することができる。

2 支部の補助機関として、分会代表者会議の決定により各種委員会を設けることができる。

(支部役員)

第十二条 支部につきの役員をおく。

- 一．支 部 長 一 名
- 二．副 支 部 長 若 干 名
- 三．支 部 書 記 長 一 名
- 四．支 部 委 員 若 干 名
- 五．会 計 監 査 二 名

2 支部役員は全員投票もしくは支部大会で選出し、任期は一年とする。ただし、再選を妨げない。役員に欠員を生じたときは、補欠選挙もしくは分会代表者会議で選出し補充する。この場合の任期は前任者の残任期間とする。

3 支部役員のうち、支部長、副支部長および支部書記長は支部分会の他の役員を兼ねることができない。ただし、臨時の役員または代行についてはこの限りでない。

その他の役員の兼務についての制限は中央委員会で定める基準による。

新たに兼ねることができない役員になった場合は、前の役員を辞任したものとする。

(分会)

第十三条 支部内に、分会をおき職場活動を行なう。分会の設置基準は原則として一職場一分会とするが、実情に応じて中央委員会で定める。

(分会役員)

第十四条 分会に次の役員をおく。

- 一．分 会 長 一 名
- 二．副 分 会 長 若 干 名
- 三．分 会 委 員 若 干 名

(組合員五名に一名を基準とする)

(分会会議)

第十五条 分会に、分会役員および分会大会をおき、分会長が随時招集する。分会役員は、選挙もしくは推せんを得て分会大会で選出する。

(班)

第十六条 分会内に必要に応じ班を設けることができる。

(支部分会の財政)

第十七条 支部分会の財政について必要な事項は、当分の間、中央委員会の議決により運用する。

その他の支部分会運営に関する事項も同様とする。

附 則

1 この規程の改廃は中央委員会の議を経ておこなう。

- 2 この規程は 1976 年 8 月 20 日から施行する。
- 3 この規程は 1977 年 5 月 20 日から適用する。
- 4 この規程は 1996 年 2 月 26 日から通用する。